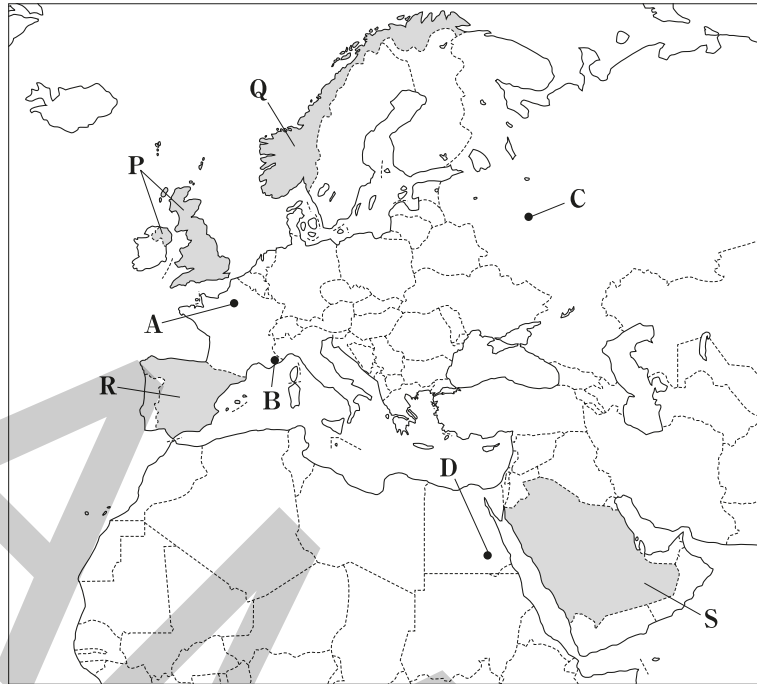


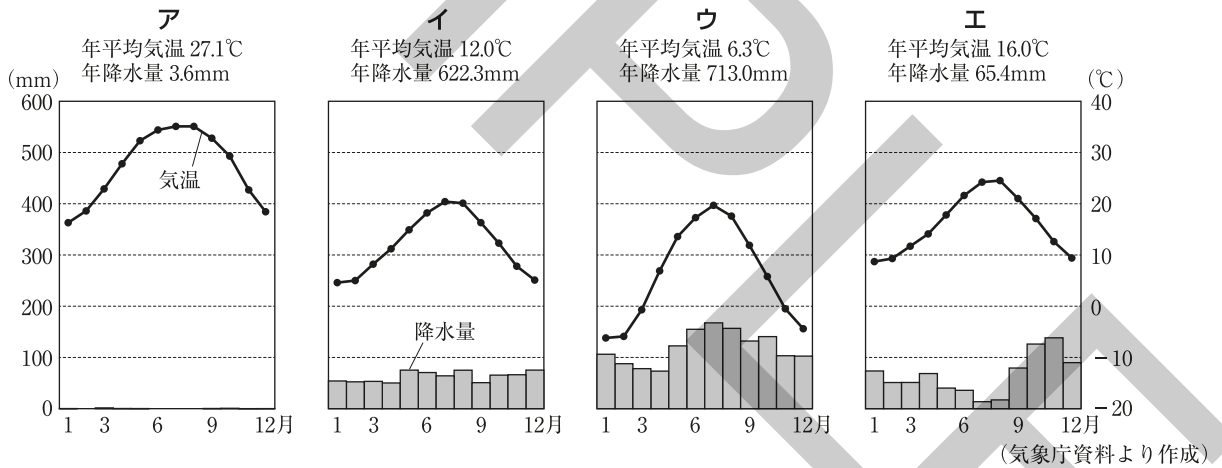
地理〔世界の国々の特色と雨温図の読み取り〕

1 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。



〔問1〕 次のア～エのグラフは、略地図中のA～Dのいずれかの都市の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。A～Dの都市に当てはまるグラフをア～エからそれぞれ選び、記号で答えよ。

A〔 〕 B〔 〕 C〔 〕 D〔 〕

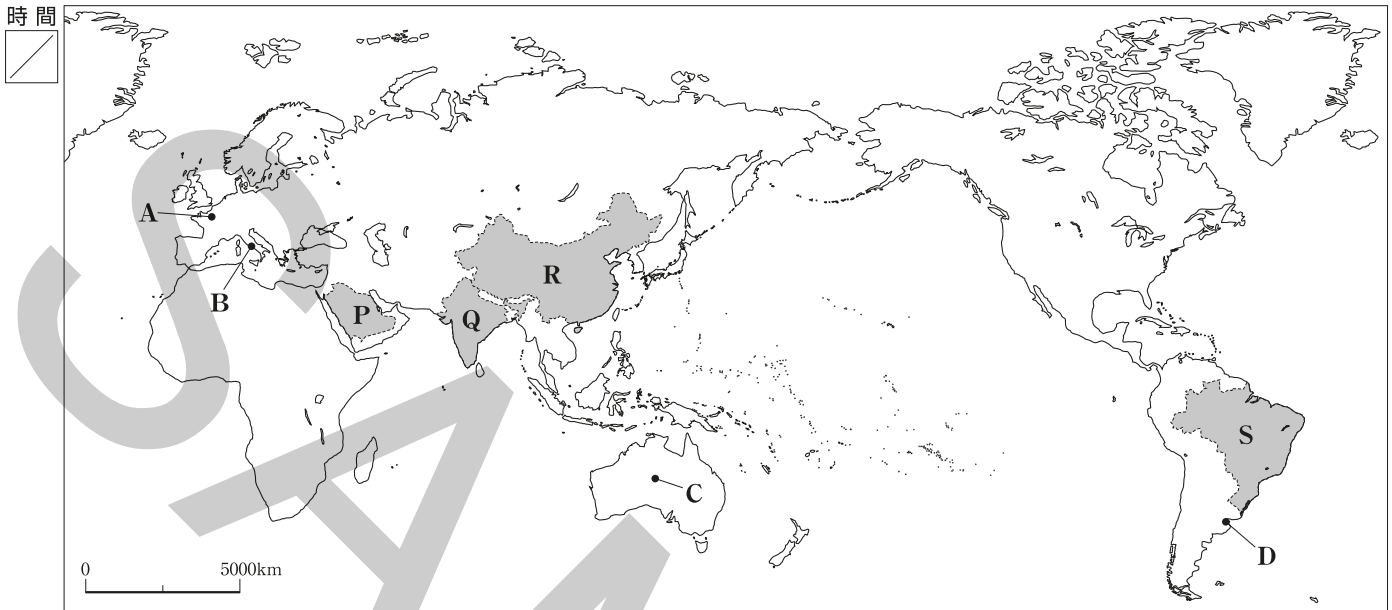


〔問2〕 次のア～エは、略地図中にP～Sで示したいずれかの国について述べている。P～Sのそれぞれの国に当てはまるのは、次のア～エのうちではどれか。

- ア この国の沿岸部では、フィヨルドと呼ばれる入り組んだ海岸地形がみられる。
- イ この国は、ラテン系の言語が主に使用されており、キリスト教のカトリックの信者が国民の多数派を占めている。
- ウ この国は、イスラム教が国教であり、この国にはイスラム教の聖地であるメッカがある。
- エ この国は、18世紀にいち早く工業を発展させた国で、2020年1月にEUより離脱した。

P〔 〕 Q〔 〕 R〔 〕 S〔 〕

1 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。



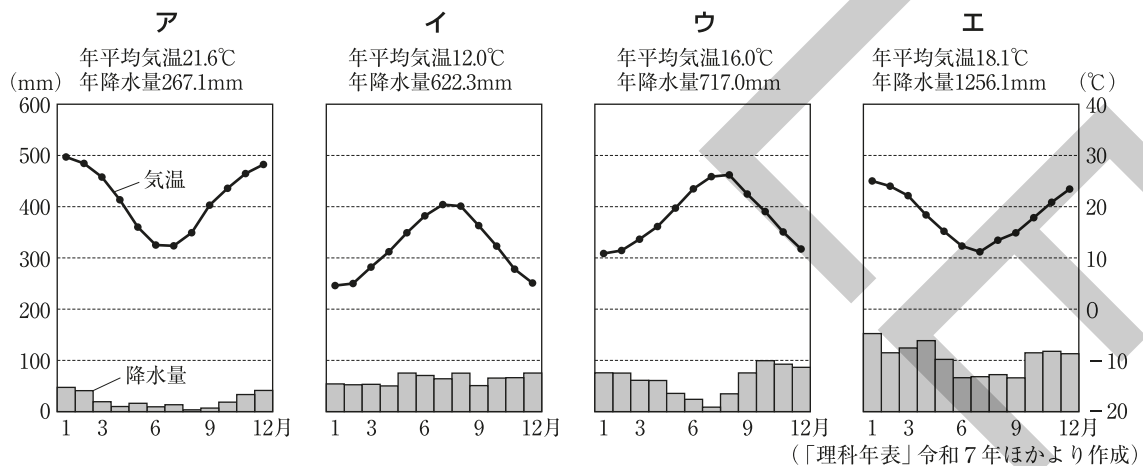
〔問1〕 次のⅠの文章は、略地図中にA～Dで示したいずれかの都市の気候と農業の様子についてまとめたものである。Ⅱのア～エのグラフは、略地図中のA～Dのいずれかの都市の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Ⅰの文章で述べている都市に当てはまるのは、略地図中のA～Dのうちのどれか。また、その都市のグラフに当てはまるのは、Ⅱのア～エのうちどれか。

都市〔 〕 グラフ〔 〕

Ⅰ

日本と同じ気候帯に属し、周辺には広大な草原が広がっている。その草原では小麦の栽培や牛の放牧が行われている。広大な草原で放牧により育てられた牛の肉は、海外に輸出されている。

Ⅱ



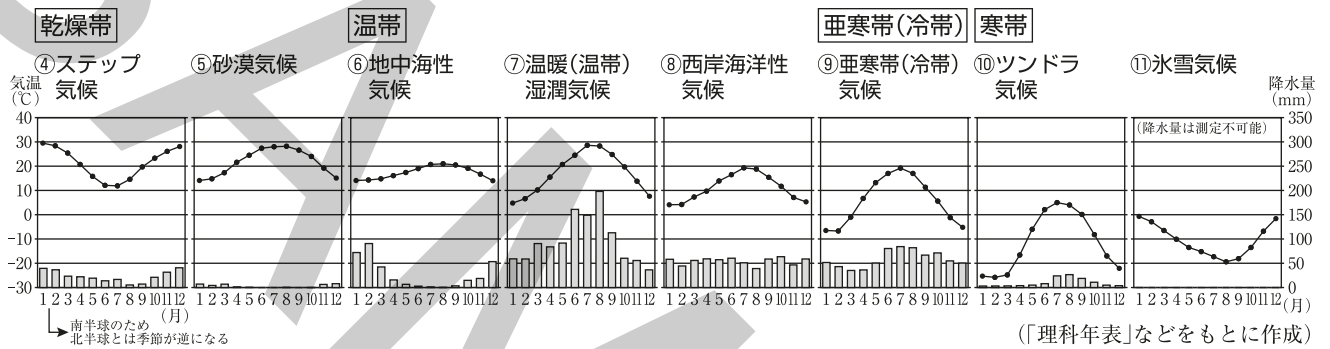
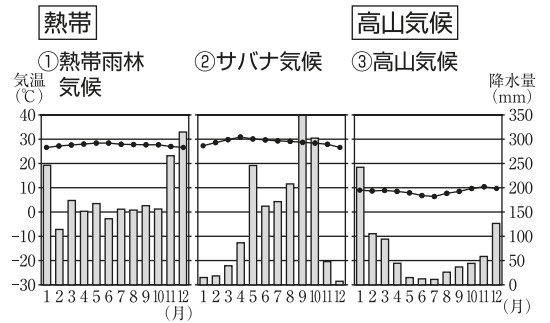
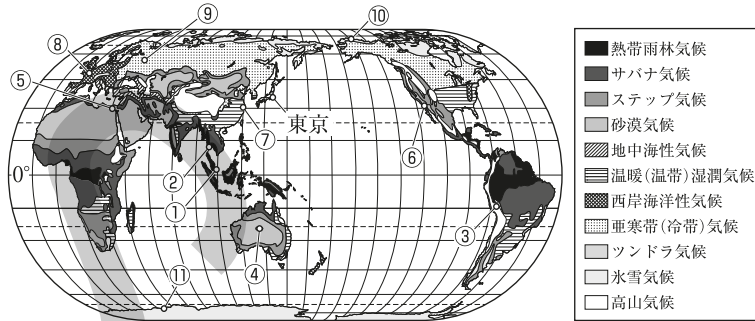
〔問2〕 次の表のア～エは、略地図中に で示したP～Sのいずれかの国の、2023年における工業出荷額、工業などの様子についてまとめたものである。略地図中のP～Sのそれぞれの国に当てはまるのは、次の表のア～エのうちではどれか。

P〔 〕 Q〔 〕 R〔 〕 S〔 〕

整理しておこう

■ 世界地理

世界の気候



世界の人々の生活

気候帯	国・地域	伝統的な住居	伝統的な生活
寒帯	カナダ北部 (イヌイットの地域)	・ イグルー ・ あざらしの皮を用いたテント	・ 魚やあざらし, カリブーの肉を主に食べる。 ・ あざらしの皮でつくったアノラックを着る。
亜寒帯(冷帯)	シベリア	・ 二重窓で, 玄関の扉を厚い木でつくったログハウス ・ 高床にした住居	・ ライ麦パンやゆでたじゃがいもなどを主に食べる。 ・ 夏は薄着だが冬は厚いコートに大きな帽子を着用する。
温帯	イタリア	・ 石でつくられ, 窓を小さくとした住居	・ パンやパスタが主食。 ・ ワイン, オリーブオイル, トマトが主要な食材。
乾燥帯	アラビア半島	・ 日干しれんがでつくられた住居	・ 羊の肉や小麦を使った料理を主に食べる。 ・ 日差しや砂ほこりを防ぐ袖や丈の長い衣服を着る。
熱帯	フィジー	・ 竹や木でつくられ, 屋根をやしの葉でおおった住居	・ 食材をバナナややしの葉に包んで蒸し焼きにする。 ・ 薄着で簡易な服が多い。
高山気候	アンデス山脈	・ 日干しれんがでつくられた住居	・ じゃがいもやとうもろこしが主食。 ・ アルパカの毛でつくったポンチョやつばの広い帽子。

地域連合

略称	地域連合名	説明
EU	ヨーロッパ連合	ドイツ, フランスなどが加盟。共通通貨はユーロ。人・物の移動が自由。
ASEAN	東南アジア諸国連合	タイ, マレーシア, インドネシアなどが加盟。経済成長が著しい。
OPEC	石油輸出国機構	産油国である西アジア諸国に加盟国が多い。
APEC	アジア太平洋経済協力	アジア・太平洋地域の経済協力を目的とした枠組み。
USMCA	米国・メキシコ・カナダ協定	アメリカ合衆国, メキシコ, カナダによる自由貿易協定。
AU	アフリカ連合	アフリカにおいて高度な政治的・経済的統合を実現することが目的。

解答

1

〔問1〕 A イ B エ C ウ D ア

〔問2〕 P エ Q ア R イ S ウ

2

〔問1〕 A エ B ア C ウ D イ

〔問2〕 P エ Q イ R ア S ウ

3

〔問1〕 A ア B ウ C イ D エ

〔問2〕 P ウ Q エ R ア S イ

4

〔問1〕 A イ B ウ C エ D ア

〔問2〕 P エ Q ウ R イ S ア

解説

1

〔問1〕 A フランスのパリは、年間を通して一定の降水量があり、緯度の割に温暖な温帯の西岸海洋性気候に属する。

B フランスのニースは、地中海に面しており、夏に降水量が少なく冬に降水量が多くなる、温帯の地中海性気候に属する。

C ロシアのモスクワは、夏と冬の気温差が大きく、冬の寒さが厳しい亜寒帯(冷帯)に属する。

D エジプトのアスワンは、降水量が非常に少ない、乾燥帯の砂漠気候に属する。

〔問2〕 P イギリスを示している。イギリスは、2016年に行われた国民投票の結果にもとづき、2020年1月にEUを離脱した。

Q ノルウェーを示している。フィヨルドは大西洋岸にみられる。また、ノルウェーは石油や天然ガスの産出量が多い。

R スペインを示している。国民の大半がキリスト教のカトリックを信仰しているスペインは、ヨーロッパ州南西部のイベリア半島にあり、地中海に面している。スペインでは、オリーブやぶどうなどの栽培が盛んである。

S サウジアラビアを示している。サウジアラビアは西アジアのアラビア半島にあり、国民のほとんどがイスラム教徒である。また、世界有数の石油産出国である。

2

〔問1〕 A アメリカ合衆国のニューヨークは、温帯の温暖湿潤気候に属する。

B アメリカ合衆国のロサンゼルスは、温帯の地中海性気候に属する。

C タイのバンコクは熱帯で、雨季と乾季がみられるサバナ気候に属する。

D シンガポールは熱帯で、年中高温多雨である熱帯雨林気候に属する。

〔問2〕 P アメリカ合衆国を示している。アメリカ合衆国の北緯37度以南は温暖な気候であり、近年、先端技術産業が発達している。

Q メキシコを示している。メキシコは、かつ

てスペインの植民地であった影響もあり、スペイン語を話す人が人口の大多数を占めている。国内にはマヤ文明などの遺跡がある。

R 中国を示している。中国では、1970年代末から経済改革に着手し、経済特区を設置するなどした。その結果、工業が発達し、「世界の工場」とよばれるようになった。

S インドネシアを示している。インドネシアはイスラム教徒が国民の多数派を占めており、世界で最もイスラム教徒の多い国である。石油や天然ガスなどの資源が豊かで、農業や漁業もさかんである。

3

〔問1〕 A ボリビアのラパスは、アンデス山脈の高地に位置していることから、緯度の割に平均気温が低い高山気候に属する。

B ブラジルのマナウスは、赤道付近にあり、年中高温多雨である熱帯雨林気候に属する。

C シドニーはオーストラリアの東岸に位置しており、温帯の温暖湿潤気候に属する。

D アリスプリングスは、オーストラリアの内陸部に位置しており、乾燥帯に属している。

〔問2〕 P ブラジルを示している。ブラジルは、コーヒー豆の生産量が世界最大である。また、世界最大の流域面積をほこるアマゾン川流域では熱帯林の伐採が問題となっている。

Q チリを示している。銅の産出量が世界最大であるチリは、南アメリカ大陸の西側に細長くのびる国である。

R アルゼンチンを示している。パンパで肉牛の放牧や小麦の栽培がさかんなアルゼンチンは、これらを多く輸出している。

S オーストラリアを示している。オーストラリアの先住民はアボリジニ、ニュージーランドの先住民はマオリという。

4

〔問1〕 A イギリスのロンドンは、年間を通して降水量が一定で、緯度の割に温暖な温帯の西岸海洋性気候に属する。

B インドのデリーは、モンスーンの影響により夏に降水量が多くなり、気温も非常に高くなる。

C 中国の上海は、日本列島と同じく温帯の温暖湿潤気候に属する。

D アルゼンチンのブレノスアイレスは、南半球に位置していることから、6~8月頃の気温が低く、12~2月頃の気温が高くなっている。

〔問2〕 P ドイツを示している。ドイツの公用語であるドイツ語は、ゲルマン系言語である。また、自動車などの機械工業がさかんで、それらの工業製品を多く輸出している。

Q 南アフリカ共和国を示している。アフリカ大陸の南端に位置する南アフリカ共和国は日本とは季節が逆になる。レアメタルの産出がさかんで、それらを多く輸出している。

R インドを示している。インドでは、国民の約8割がヒन्दゥー教徒である。

1

解答

- 〔問1〕 都市 D グラフ E
 〔問2〕 P イ Q ウ R ア S E
 〔問3〕 E

解説

- 〔問1〕 Dはブエノスアイレスで、日本の東京と同じ温暖湿潤気候であるが、南半球に位置するため夏と冬の時期が日本とは逆となる。またブエノスアイレス周辺にはパンパと呼ばれる草原が広がっており、肉牛の飼育や小麦の栽培が盛んである。アは乾燥帯に属するCのアリスプリングス、イは西岸海洋性気候に属するAのパリ、ウは地中海性気候に属するBのローマの雨温図である。
- 〔問2〕 Pはサウジアラビアで、原油が豊富で、工業はあまり盛んではない。Qはインドで、情報通信技術(ICT)関連産業などの工業が大きく成長している。Rは中華人民共和国(中国)で、国土南東の沿岸部に経済特区を設けたことなどで工業が発展した。Sはブラジルで、豊富な資源を活用して工業化を進め、中国などともにBRICSと呼ばれ、国際社会で存在感を増している。
- 〔問3〕 IとIIから2023年の日系現地法人数が1000社以上1500社未満、日本への輸出総額が2兆円以上3.5兆円未満の国はインドネシアとマレーシアに限られることがわかる。両国ともパーム油の輸出が多いが、インドネシアでは石炭が豊富に産出され、主要な輸出品となっている。

2

解答

- 〔問1〕 都市 C グラフ ウ
 〔問2〕 P ウ Q ア R イ S E
 〔問3〕 ウ

解説

- 〔問1〕 コーヒーや綿花の生産が盛んなCのエチオピアの首都アディスアベバの説明である。アディスアベバは赤道に近いものの、標高2000m以上の高地に位置しているため、年間を通じて温和で気温差の少ないウが当てはまる。
- 〔問2〕 アは「冷涼な高原地帯」、「伝統的な遊牧」などの内容からQのモンゴル、イは「乾燥した気候」、「宗教の影響で豚の飼育頭数が少ない」などの内容から乾燥帯に属しかつイスラム教圏に位置するRのソマリア、ウは「南北の近隣に世界有数の畜産大国が位置する」という内容からPのメキシコ、Eは「ブランド化された同国固有の品種の豚」という内容からイベリコ豚が有名なSのスペインと判断できる。
- 〔問3〕 Iで第一次産業の就業人口割合が30%を超えており、さらにIIで外貨準備高が2000億ドル以上となっているタイが当てはまる。タイは米や天然ゴムなどの生産が盛んであることで知られるが、経

済成長による産業の高次化が進んでおり、工業や観光業なども盛んとなっている。また、東南アジア諸国の位置関係を把握しておこう。

3

解答

- 〔問1〕 都市 B グラフ E
 〔問2〕 P ア Q イ R ウ S E
 〔問3〕 E

解説

- 〔問1〕 市内にカトリックの総本山であるバチカン市国が位置し、地中海式農業が盛んなBのローマの説明である。Aはイギリスのロンドンで、プロテスタントが多くゲルマン系の言語が話されており、雨温図は西岸海洋性気候を示すウである。Cはペルーのクスコで、スペインの植民地であった影響でスペイン語が話され、キリスト教徒が多く、またその標高は3000メートルを超えるので、雨温図は高山気候を示すアである。Dはアメリカ合衆国のラスベガスで、キリスト教徒が多く、雨温図は砂漠気候を示すイである。
- 〔問2〕 Pはフランスで、EU最大の農業国である。Qはインドで、乾燥地域である北西部で小麦、降水量の多いガンジス川流域で米が栽培されている。Rは中華人民共和国(中国)で、冷涼な北東部の黄河流域で小麦の栽培が盛んである。Sはアメリカ合衆国で、広大な農地を大型機械で耕作する大規模な農業が行われ、世界有数の小麦輸出国となっている。
- 〔問3〕 IIから、日本への輸出額に占める機械類の割合が20%に達していないのはインドネシアとオーストラリアである。Iから両国とも日本の貿易赤字となっているのがわかるが、対インドネシアの日本の貿易赤字は、円グラフから貿易総額5.4兆円のうち1兆円程度であることが読み取れる。なお対オーストラリアの日本の貿易赤字は約6.7兆円である。

4

解答

- 〔問1〕 都市 B グラフ イ
 〔問2〕 P ア Q ウ R E S イ
 〔問3〕 ア

解説

- 〔問1〕 熱帯の海にみられる美しく広大なさんご礁地帯であるグレートバリアリーフが広がっていることなどから、オーストラリアの都市と判断できる。文章は有数の観光地であるケアンズについて述べている。オーストラリア北部は熱帯性の気候となっており、また、南半球では7~8月ごろに最も気温が低くなることから、イが当てはまるとわかる。
- 〔問2〕 アは「発電は主に水力エネルギー」などの内容からPのカナダ、イは「原子力による発電電力量割合が6割以上」などの内容からSのフランス、ウは「工業大国…燃料資源の輸入超過国」などの内容から「世界の工場」ともいわれるQの中華人民共和国(中国)、Eは「世界一の原油輸出国」などの内容からRのサウジアラビアと判断できる。